

- ② 愛称が「あつめき」に決定
- ③ DXの推進でより便利に
- ④-⑤ 特集 伝えたいまちの魅力 厚木で暮らす
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」「カタログポケット」 ネットは「マイ広報紙」

新しい春をこのまちで

市の魅力を配信中

ソーシャルメディアやPR動画でまちの話題や旬なイベント情報を発信しています。



▲市の子育て環境などをPRする動画を作成



▲市HPでもイベント情報を発信中



▲市公式SNSアカウントはこちら

☎225-2040

問広報シティプロモーション課

《4・5面に関連記事》

魅力発信に取り組んでいきます。

これからも市内外へ向けた厚木の

魅力発信に取り組んでいきます。

「住んでみたい・住み続けたい」と思ってもらえるように、

まります。「住んでみたい・住み続けたい」と思ってもらえるように、

力に目を向けると、愛着がさらに深

力が息づいています。身近な良さに目を向けると、愛着がさらに深

に目を向けると、愛着がさらに深

まります。「住んでみたい・住み続けたい」と思ってもらえるように、

それには約22万3000人が暮らし、

それぞれ時間を紡いでいます。

日常の風景の中には、まちの魅

力に目を向けると、愛着がさらに深

まります。「住んでみたい・住み続けたい」と思ってもらえるように、

それには約22万3000人が暮らし、

それぞれ時間を紡いでいます。

日常の風景の中には、まちの魅

Zoom Up

図書館や新庁舎を含む複合施設の整備進む

愛称が「あつめき」に決定

2027年度中の供用開始に向けて建設を進めている複合施設の愛称が「あつめき」に決まりました。愛称とロゴマークは複合施設のサインなどに使用し、今後皆さんが誇りと愛着を持てる施設を目指していきます。

中心市街地のシンボルとして、厚木バスセンター東側に図書館や（仮称）未来館、市庁舎、国・県の施設などからなる複合施設を建設しています。完成する施設が多くの方に親しまれるよう、愛称とロゴマークを決定しました。

愛着を持てる施設に

愛称は昨年9月に公募し、244点の応募の中から市複合施設愛称選考委員会で優秀作品5点を選出。市民投票の結果、投票総数1989票中、最多680票を集めた「あつめき」に決定

しました。

「あつめき」には厚木の地名の由来の一つといわれる「集め木」やときめき、メキメキ成長する力強さ、人を集める場所などの意味が込められています。愛称を基に市が作成したロゴマークは、木の断面やたくさんの人が集まる様子を円で表し、白抜きの形は「あ」をベースにデザイン。右上の星形は「と きめき」を表しています（左欄参照）。

複合化で交流を生む

9月に本体建設工事が始まった複合

施設は現在、地下を工事するための掘削作業を終え、建物の地下躯体工事に着手しています（左下欄参照）。施設は、図書館や市庁舎、消防本部などの機能を複合化することで相乗効果を生み出し、利便性の向上を目指します。利用者が集い、交流の場として活用できるスペースも設置します。

今後も市民の皆さんが気軽に立ち寄り充実した時間を過ごせる施設になるよう、27年度中の完成・供用開始に向け、整備を進めていきます。

☎中央図書館 ☎23-0033・市街地整備課 ☎25-2470（複合施設の整備）



あつめき

メインカラー…市の花「さつき」の色をベースに、大地に根を張り木を支える根っこの色として、愛称に込められた力強さを表現

星形のデザイン…市の色の黄緑色をベースに、施設に訪れる人の輝かしい未来を表現 愛TV 4/1~

人が集う場所に

「あつめき」愛称考案者
三宅 遼 さん（40・寿町）



市内で生まれ育ち、一度市外に出ましたが、子育てするタイミングで戻ってきました。広報紙で施設の愛称募集を知り、家族4人それぞれ応募しました。

愛称には、厚木の由来といわれる「集め木」から発想を得て、さまざまな世代の人が集まる施設になってほしいという願いを込めました。

近年、駅前のにぎわいが寂しいと感じています。新たな複合施設は、市庁舎だけでなく、今まで別々だった図書館や科学館などの施設が一つに集約されるので、人が集まる場所になり、多くの交流やまちのにぎわいが生まれてほしいなと思います。「あつめき」が市民の方に親しまれる愛称になると嬉しいです。

完成に向け整備が進む

複合施設 本体建設工事

昨年9月に着工した本体建設工事は現在、建物の基礎となる部分の鉄筋の組み立て作業を進めています。

☎市街地整備課 ☎225-2470



進捗状況



整備前（21年3月）

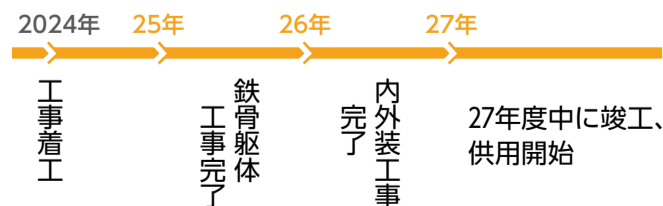


建設工事前（23年7月）



現在（25年3月）

工事の流れ（予定）



本厚木駅前東口地下道 活性化提案事業

活気あふれる空間になるよう市民の皆さんがイベントを実施します。

☎企画政策課 ☎225-2450



事業名	内容	日にち
こんなスポーツ知っトク！	生涯スポーツの普及や健康増進を目指す	6月7日
あつき地下マルシェ	菓子やパン、花などの販売やピアノを設置したミニコンサート	6月14日
キッズ向けダンスレッスン体験会	ブレイキンやヒップホップダンスなどの体験	6月29日、8月31日、11月30日、2026年3月29日
出張まりぞうランド	ラジコンの操縦体験	第2日曜（7～9・11月・26年2月を除く）
本厚木地下道骨董市	骨董品の販売など	3日（8月・26年1月を除く）
なかちか市	ワークショップやロボット操縦体験	第1・4日曜（8月第1週を除く）



住居表示台帳をシステム化



スマートフォンの使い方を学べる講座

市の情報を10言語でお届け

Zoom Up

市民サービスと事務効率を向上 DXの推進でより便利に

デジタルトランスフォーメーション (DX) には、デジタル技術を活用して生活をより良く変えていくという意味があります。市では電子での手続き拡充や、AIを使った事務の効率化を進めています。

人口減少や人手不足などの社会問題に対応し公共サービスを継続していくには、DXの推進が欠かせません。市では昨年4月にDX推進課を立ち上げ、サービス向上や事務の効率化のためDXを推進してきました。

公共サービスをより便利にするため、電子でできる行政手続きを拡充しています。昨年度は感震ブレイカー有償配布の受け付けなど23の手続きを電子化し、現在126の手続きが電子でできます(左欄参照)。昨年8月には行政の情報を多言語で読めるサービスを導入。広報紙などの市が発信する情報を10言語に翻訳し、音声読み上げにも対応しています。さらに、スマートフォンやパソコンなどの操作を学べる講座や、インターネット安全教室などを実施。誰でも、欲しい情報を受け取れる環境づくりを進めています。

DXで事務を効率良く

市は昨年、ICT技術の先進的な知

市役所での手続きを電子化

より便利に手続きできるよう、現在126の手続きを電子化しています。

電子でできる主な手続き(担当課)

- ・住民票の写し・戸籍謄・抄本交付申請(市民課)
- ・防災ラジオ・感震ブレイカー有償配布受け付け(危機管理課)
- ・高齢者福祉サービス助成券交付申請(福祉総合支援課)
- ・福祉タクシー利用券の申請(障がい福祉課)
- ・電子図書館利用登録申請(中央図書館)
- ・不在者投票の投票用紙などの請求(選挙管理委員会事務局)

その他の電子でできる手続きは市HPに掲載。詳細は各担当課へ。



- ◆ DX: デジタル技術で製品やサービスなどを変革させ、生活をより良く変えること
- ◆ AI: 人工知能
- ◆ ICT: 情報通信技術を活用したコミュニケーションやサービス

識を持つNTT東日本と連携協定を締結しました。助言や提案をもらいながら、市のDXを進めています。さらに、災害時にSNSや気象データなどからAIが情報を収集・解析しリスクを可視化するシステムを導入しました。3月には住居表示台帳も電子化し、管理、編集、共有できるシステムを運用開始。手作業でしていた台帳の更新が簡略化され、入力データの一元化など事務の効率性が向上します。

今年度は、自治会向けのアプリや、スマートフォンを利用した視覚障がいのある方への支援システムなどの導入を予定しています。今後も、AIなどの技術を活用して市民サービスの向上と事務の効率化を進め、さらなる市の魅力向上に取り組みしていきます。

DX推進課 ☎25-2447

ステッカーのある場所で使えます



厚木市公衆無線LANサービス Atsugi Free Wi-Fi

公共施設や駅周辺で使える無料の公衆無線LANサービスです。4月1日から厚木北公民館も追加し、市内33カ所で使えます。 ☎DX推進課 ☎225-2447

《SSID》 Atsugi_Free_Wi-Fi
1回60分、1日の接続回数は無制限

《サービス提供エリア》 市役所、本厚木駅北口・南口、あつぎ市民交流プラザ、厚木バスセンター、中央図書館、保健福祉センター、本厚木駅前東口地下道、厚木中央公園、厚木公園、東町スポーツセンター、ふれあいプラザ、愛甲石田駅北口、ぼうさいの丘公園、文化会館、荻野運動公園、あつぎ郷土博物館、各公民館

《接続方法》 愛TV 4/1~

- ① スマートフォンなどのWi-Fi設定画面で「Atsugi_Free_Wi-Fi」を選択
- ② Eメールアドレス認証を選択し、同意するをタップ(Eメールアドレスの他、SNSでも認証できます)
- ③ Eメールアドレスを入力し、利用上の注意事項などに同意。受信したメールのリンクをタップし、接続完了

手続きの場所が変わります

マイナンバーカードセンター開設

5月7日から、マイナンバーカードに関する手続きをするセンターを開設します。市役所本庁舎では、引っ越しや結婚などに関連するマイナンバーカードの手続きのみ取り扱います。 ☎市民課225-2039

■マイナンバーカードセンター

《場所》 中町3-17-25 2階
《開館日時》
平日=8時30分~17時15分
土曜=8時30分~12時

※市役所駐車場、中央公園地下駐車場が利用できます。



マイナンバーカードセンターでできる手続き

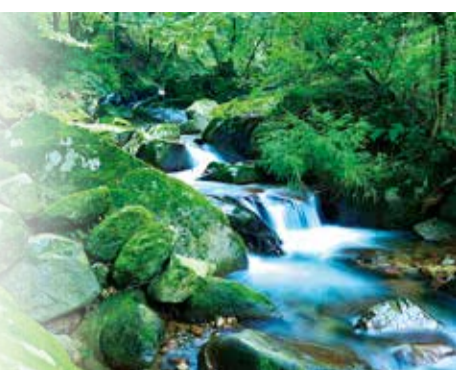
マイナンバーカードの交付/申請の支援/暗証番号の変更・初期化/電子証明書の発行・更新/記載事項の変更/紛失した際の手続きなど

市役所本庁舎でできる手続き

引っ越しや結婚などの手続きと同時にマイナンバーカードの記載事項の変更や、申請支援など

自然が近い

雄大な大山や白山など、ハイキングコースが充実。七沢エリアでは森林浴やクライミングが、飯山白山森林公園は桜や紅葉を楽しめます。



■すぐ行ける温泉

「あつぎ温泉郷」では高アルカリ泉の美肌の湯が楽しめる



■公園がいっぱい

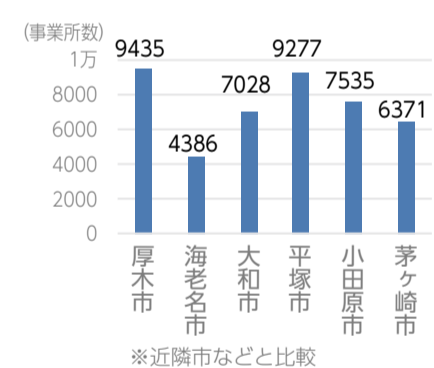
芝生でくつろげたり、アスレチックが充実していたり、きれいな花や新緑、紅葉を楽しめるなどさまざまな公園がある

たくさんの企業がある

5つのインターチェンジがあり、交通のアクセスが抜群。働く場所も多く、事業所数、従業員数は県内トップクラスです。製造業や研究開発拠点などの企業誘致も進めています。



事業所数(令和3年経済センサス)



市内で働く人を応援

■勤労者奨学金返済助成金
市内企業で働く市民の奨学金返済費用を助成
《補助額》年間支払額の2分の1(上限12万円・最大7年間)



住宅の取得をサポート

■若年世帯住宅取得支援事業補助金
転入または市内に住む子育て中の若年世帯が住宅を新築・購入する取得費用の一部を補助
《補助額》20万円。加算あり

■親元近居・同居住宅取得等支援事業補助金

市外に1年以上住む世帯が、市内に1年以上住む親世帯と近居・同居を始める時に、住宅取得・改修する費用の一部を補助
《補助額》住宅取得・近居は40万円、同居は60万円。住宅改修は経費の10分の1(上限20万円)。加算あり

子育て移住・定住ガイド「あつぎとつぎへ」発行

市外の方に向けて、まちの概要や支援の内容、移り住んだ方のインタビューなどを掲載しています。◎広報シティプロモーション課☎225-2040

- ・A5サイズフルカラー16ページ
- ・4月1日以降、駅や公共施設などに順次配架



詳細はこちら



特集 伝えたいまちの魅力

厚木で暮らす



皆さんは厚木のどんなところが好きですか。長く暮らして分かること、初めて住んで気づくこと、魅力の捉え方はそれぞれではないでしょうか。特集では、新年度のスタートに合わせて、改めてまちの魅力を見つめてみました。皆さんも、知っている厚木のいいところを誰かに話してみませんか。

◎広報シティプロモーション課☎225-2040

新鮮な食材がそろそろ

朝市や夕焼け市、直売所など新鮮な地場農産物を買う場所がたくさんあります。



■直売所

「夢未市」や「グリーンセンター」「あつま」などで新鮮な地場農産物がそろそろ



詳細はこちら

■朝市
文化会館の駐車場で毎週日曜6~7時に開催

■夕焼け市
荻野運動公園で4~10月の毎週水曜17~18時に開催



農業と距離が近いまち

宮下 寛史さん(34・小野)

農業を始めるため2019年に埼玉県から移り住み、妻と2人の子どもの4人で暮らしています。市内や伊勢原市にある畑を管理し、24年には農業を法人化しました。厚木のことを知ったのは神奈川県で農地を探していた時です。初めて訪れた時はアクセスが良く、便利な駅前と豊かな自然の差に驚きました。都市農業支援センターに新規就農の相談をし、ちょうど空いた農地があったため厚木で就農しました。今、畑では季節ごとにトウモロコシや白菜、ネギなど約10種類の野菜を育て、市内のスーパーマーケットや市場に卸しています。直売所などで地元の農産物が楽しめて農業が身近なことも、厚木のいいところだと思います。



おいしいグルメ

とん漬、ホルモン、アユなど古くから親しまれている有名なグルメがたくさん。魅力ある食品を「あつぎ食ブランド」に認定しています。



詳細はこちら

子育てしやすい

より住みよいまちになるよう、子育て世帯を支援しています。



詳細はこちら

■子どもの医療費が無料

高校生年齢まで、通院や入院にかかる健康保険適用医療費の自己負担分が所得に関係なく無料



■紙おむつなどを自宅へ配送

紙おむつ、お尻拭きなどを一定額まで注文でき、毎月1回自宅に配送



■学校給食費の無償化

市立小・中学校の学校給食費を無償化。学校給食の提供を受けていない家庭には学校給食費相当額を給付

■子育て支援センター「もみじの手」

未就学の子どもを遊ばせながら子育ての相談や交流ができる他、ベビーマッサージや親子ふれあい遊びなどの子育て講座を実施



イベントカレンダー



詳細はこちら

- 3月 **あつぎ飯山桜まつり**
満開のサクラの下、飯山白龍太鼓や白龍の舞、女性だけで担ぐさくら輿などにぎわう
- 8月 **あつぎ鮎まつり**
約1万発が上がる大花火大会、ダンスコンテスト、みこし、鮎のつかみどりなど、さまざまな催しを楽しめる
- あつぎジャズナイト
野外ステージで本格的なジャズの生演奏と厚木のグルメを楽しむ
- 10月 **あつぎマラソン**
荻野運動公園を発着点に、自然豊かな秋の厚木路を楽しむマラソン大会
- 11月 **にぎわい爆発あつぎ国際大道芸**
国内外から一流のアーティストが集まり、市街地周辺でパフォーマンスを披露する



地域のつながり



自治会や子ども会など、地域の活動が活発なことも厚木のまちの特徴。助け合いながら安心して暮らせます。

■共助で災害に備える

地域の防災訓練や自主防災隊などで備え、いざという時に助け合える関係づくりをしている

■地域のイベントがたくさん

地域の夏まつりや子ども向けのイベントなど、楽しめる催しが豊富にある

地域とつながる暮らし

大塚 裕美さん(57・三田)

30年ほど前に夫の実家のある市内に引っ越し、夫と息子の3人で暮らしています。私たち夫婦は共働きで、息子が生まれてから、近所の皆さんに助けられてきました。息子が小学生の頃は、下校が早い時に地域の方が預かってくれたり、公園や児童館で遊んでいるのを見守ってくれたりしました。そのような環境で子育てできたことにも感謝しています。息子は中学生になり、地域の子ども向けのイベントなどをジュニアリーダーとしてサポートしています。学区外の友達ができたり、良い先輩に出会えたりと、いい経験になっているようです。私も青少年健全育成会会長として、地域のパトロールやイベントに携わっています。



子どもたちがゲームの配信に挑戦

あつきeスポーツフェスティバルを3日間で開催



大学生に教わりながらeスポーツを体験

eスポーツを楽しむながら学べるイベントを、神奈川県工科大学・アミューあつき・厚木シティプラザで3日間開催しました。約700人が体験やプロ選手の講座・トークショーなどを楽しみました。イベントは、市内の大学生らでつくる地方創生推進プロジェクトが開催。年代を問わず楽しめるeスポーツを通じて、地域活性化や多世代交流などにつながっています。初日の神奈川工科大学では、小・中学生約30人が最新機器を使い、「ぶよぶよeスポーツ」の体験や、ゲーム実況解説のポイントなどを学びました。参加した森下敬太さん(8)は「初めてゲーム配信をした。緊張しすぎてうまくできなかったけれど、楽しかった」と笑顔を見せました。

夏のフランクインへ向けて監督ら思い語る

市制70周年記念映画のキックオフイベントを開催

市内を舞台に製作される映画「キリコのタクト・YELL」のキックオフイベントが、文化会館で開催されました。約900人が、監督の雑賀俊朗さんや出演する宅麻伸さん、小西博之さんらの話に聞き入りました。イベントは、市制70周年記念事業実行委員会が主催。「映画によるまちづくり」をテーマにした講演や、出演者らによる座談会などが実施されました。この日は、8つの役柄を決めるオーディションも開催。5〜6歳の市民ら約90人が演技を披露しました。映画には、鈴木京香さん、名取裕子さん、榎原郁恵さんらも出演予定。高校生のクラスメート役やエキストラなどに市民を起用し、2026年の公開を目指しています。



パネルディスカッションには山口市長も登壇



自分らしい暮らしを

文化会館で地域包括ケア市民講演会を開催

講演会「人生の最期まで自分らしく生きる・良き人生の歩み方」を、文化会館で開催しました。市民らおよそ1100人が、お笑いタレントでエッセイストのにしおかすみこさんと、東京大学名誉教授の上野千鶴子さんの話に耳を傾けました。講演会は、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる社会を目指し、市が毎年開催。当日は、にしおかさんが認知症やダウン症のある家族との暮らしを講演。上野さんは家族や人間関係との向き合い方、人生の最期に向けた準備を語りました。来場した田中節子さん(81・船子)は「家族との交わりや、生きている今を大切にしたいと思うきっかけになった」と話しました。



「最期はひとり人生のやめどき」をテーマに講演した上野さん

プロスポーツチーム応援キャラバンの幕開け

荻野運動公園で女子ハンドボールチームの試合を応援

市内に所属企業の事業所がある女子ハンドボールチーム「ブルーサクヤ鹿児島」のホストゲームが、荻野運動公園で開催されました。市は試合に併せて応援イベントを実施。市内外から953人が集まり声援を送りました。応援イベントは、市制70周年記念事業の一つとして開催しました。市内での公式戦開催に併せ、「市にゆかりのあるプロスポーツチーム応援キャラバン」の第1弾として実施。中学生以下の来場者200人に、記念のマフラータオルを配布しました。試合が始まると、タオルを掲げて応援する子どもたちの姿が見られました。市外から家族で訪れた斉藤佑太さん(37)は「ハンドボールの観戦は初めてだったが、想像以上に迫力があって楽しめた」と笑顔を見せました。



白熱した試合に盛り上がる会場

県央やまなみ探訪

厚木・秦野・伊勢原市、愛川町、清川村の5市町村が観光振興で連携している「県央やまなみ地域」の魅力を、毎月順番に紹介します。紙面では伝えきれない5市町村の観光にまつわるコラムを、ニュースサイトでも紹介します。

第11回 風情あふれる古民家カフェ

神奈川の「水がめ」、宮ヶ瀬湖から東に入った愛川町の山肌には、古民家を改装したカフェが点在しています。丹沢に抱かれた山里の雰囲気魅せられた人々が、地域に残る家々に新しい価値を吹き込む試みです。緑に囲まれて時間がゆっくり流れる空間で、コーヒーの香りを楽しめます。



愛川町の古民家を改装したカフェ

ニュースサイトで詳しく紹介しています▶

商業観光課 ☎225-2820



複合施設「あつめき」の工事現場で

皆さんは厚木の名の由来をご存じですか？複数ある説の一つに、古くは相模川などの水運を使った木材の集散地であったことから、「アツメギ」が変化し「アツギ」になったという説があります。この説からは、多くの木材と人が集まりにぎわうまちの姿が想像されます。厚木バスセンターの東側で整備を進めている複合施設の愛称が「あつめき」に決まりました(2面参照)。244点もの応募の中から選考委員

「愛」を持って愛称を考え、投票に参加していただいたことに感謝を申し上げます。2027年度に供用開始を予定している複合施設「あつめき」は、図書館、(仮称)未来館などの交流機能を備える他、市庁舎、消防本部、県の行政機関も集約されます。将来に渡り中心市街地のシンボルとして多くの皆さんが集い、誇りと愛着を持って利用していただける施設になるよう、準備を進めてまいります。

会が5点に絞り、市民投票をした結果、市内在住の三宅遼さん考案の愛称が採用されました。愛称には、市名の由来といわれるアツメギ、ときめき、成長する力強さを表すメキメキ、人を集めるという意味が込められています。三宅さんはもとより、多くの皆さんが「あつき

タウンガイド

4月

日	月	火	水	木	金	土
	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📺=講座予約システム (70th)=市制70周年記念事業
 📺愛TV/4/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「春の訪れ」

#3月1日撮影
 #河津桜
 #ヒヨドリ
 #niceatsugi
 市公式インスタグラムで公開中



井上純×壁画プロジェクト参加者募集 (70th)



市内出身のアーティスト・井上純さんと一緒に絵を描くワークショップを開催します。

市制70周年記念作品を手がけた井上純さん

☎文化魅力創造課 ☎225-2508

■大きな壁に描いてみる

日時 5月17日 10~15時
 内容 市役所新庁舎を含む複合施設の建設場所の仮囲いに自由に絵を描く
 対象 市内在住在学の小学生~高校生10人

■レタリングワークショップ

日時 5月18日 10~15時
 場所 あつぎ市民交流プラザ他
 内容 仮囲いにレタリングで文字を描き、手や足などを使って色を塗る
 定員 未就学児~小学生の子どもと保護者5組

■ボランティア

日時 5月17~25日
 9時30分~17時30分
 内容 ワークショップの補助、受け付け、準備、片付けなど
 対象 各日2~3人

◆作品制作アシスタント

日時 5月15~26日 10~17時
 内容 制作の補助、準備、片付けなど
 対象 絵画の素養がある29歳以下各日2~3人。選考あり。

いずれも無料。☑市HPにある申込書を直接またはEメールで4月25日までに文化魅力創造課(あつぎ市民交流プラザ) ✉8650@city.atsugi.kanagawa.jpへ。■は抽選。詳細は市HPへ。



市HPはこちら

応急手当普通救命講習会

4月22日、9~12時。消防本部。応急手当の重要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上30人。無料。☑4月1~9日に救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。📍

本入れバッグの配布

市立小学校に入学した児童に、学校を通じて本入れバッグを配布します。私立に入学した方は中央図書館で受け取れます。☎中央図書館 ☎223-0033。



久保奨学金の奨学生を募集

中学校の部活動に係る費用を支援する学校教育活動応援奨学金の希望者を募集します。

《対象》①市内在住②部活動への意欲がある③経済的な理由で部活動への参加が困難一の全てを満たす中学生30人程度。☑学校で配られるチラシを確認し、申請書と必要書類を4月28日までに担任の先生へ。市立中学校以外の方は教育総務課 ☎225-2600へ。選考あり。

4月2日は「世界自閉症啓発デー」 4月2~8日は「発達障害啓発週間」

自閉症や発達障がいへの理解促進のため、アミューあつぎ(4月2日)と、あゆみ橋(4月2~8日)を、啓発デーのイメージカラーの青にライトアップします。☎障がい福祉課 ☎225-2221。

厚木青少年音楽コンクール の入賞者が決定

3月8日にピアノ、バイオリン、声楽、その他の管楽器などのコンクールを開催しました。

《市長賞》吉田彩乃(相模原弥栄高校2年)《教育長賞》熊澤湊音(海老名市杉本小6年)平塚怜(大和市北大和小3年)。その他の入賞者は、市HPに掲載。☎文化魅力創造課 ☎225-2508。

荻野運動公園の指定管理者が決定

《指定管理者の名称》荻野運動公園マネジメント共同企業体《代表者所在地》旭町5-43-16-302《指定期間》4月~(5年間)。☎公園緑地課 ☎225-2410。

みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》

■(仮称)三田児童館等複合施設整備方針の策定
 ☎青少年課 ☎225-2581(児童館関係)・こども育成課 ☎225-2582(放課後児童クラブ関係)
 ◆老人福祉センター寿荘移転方針の策定

☎健康医療課 ☎225-2174

いずれも《閲覧期間》4月1~5月1日《閲覧場所》市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、あつぎ市民交流プラザ、中央図書館、保健福祉センター、市HP、■は青少年課、こども育成課、三田児童館、三田小学校、三田放課後児童クラブ◆は健康医療課、老人福祉センター寿荘も含む《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。

厚木市 市民参加

検索

(70th) モルック ジャパンオープンin厚木 出場チームを募集



モルックの全国大会が市内で開催され、市民の皆さんも出場できます。県内外の出場者と競い合いながら楽しみませんか。☎スポーツ魅力創造課 ☎225-2531

モルックとは 番号の書かれた木製のピンを倒し、50点ぴったりに目指すスポーツ

《日時》5月31日 9時20分~17時
 6月1日 8時50分~17時40分
 《場所》荻野運動公園

《対象》3~5人のチーム320組
 《費用》1組9000円(大会運営費他)

☑4月1日、20時~日本モルック協会HPから申し込み。先着順。

詳細はこちら



市役所組織の改正

4月から組織の一部を改正します。

☎行政総務課 ☎225-2280

- 新設
- 市民課 マイナンバーカード係、総合窓口整備担当
 - こども家庭センター 子育て支援第一係、子育て支援第二係
 - 市街地整備課 複合施設開館準備係
 - 消防総務課 消防団係
- 係の統合
- 危機管理課 防災・危機管理係(旧:危機管理係、防災対策係)
 - 区画整理課 区画整理係(旧:区画整理第一係、区画整理第二係)
 - 警防課 警防係(旧:警防係、装備係)



詳細はこちら

ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集

厚木市 インターネットモニター

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2043

3月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆あるのが当たり前と思っていた路線バスの10年後を考える良い機会になった/70代以上女性 ◆体育館は投票所や避難所としても使われるので冷暖房が設置されるのは全ての世代にとって良いこと/40代女性 ◆自治会の回覧板電子化はとても良い。いつでもどこでも確認できる ◆最近車を手放し市内の移動は自転車かバス。バスの利用を改めて考えてみたい/60代男性 ◆毎年桜まつりが楽しみ/50代女性

編集後記

市内に移り住んで3年目になります。引っ越す前、厚木は都会で便利なまちというイメージでしたが、実際に住むと山や川、広い公園など自然と触れ合える場所が多いのだなと思いました。市内各所でサクラやひまわり、紅葉なども見られるので、ここに来てから季節の流れもよく感じます。同じ場所でも時期によって全く異なる風景を見ることができると分らない良さがあると実感した出来事です/野口

審査結果

広報写真コンクール

「大好き！届け！私の一枚」をテーマに作品を募集し、応募数223点の中から審査の結果、入選作品が決まりました。

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2040

「タイトル」/撮影場所/氏名（敬称略）

作品は市HPや本厚木駅前東口地下道で展示中

詳細はこちら



▲市長賞「灯籠に願いを込めて」/厚木公園

魅力あふれる一瞬を

市長賞 鈴木 美咲さん(35・戸室)

あつぎ鮎まつりでの催しの様子をスマートフォンで撮影し、市公式LINEから初めて応募しました。写真は、子どもだけでなく、下のアングルから空全体を写し、たくさんの灯籠が映るように意識しました。好きなこのまちの魅力を収めた写真が評価されうれしいです。



▲輝いている人物賞「歓喜」/厚木高校/内野 秀明



▲魅力にぎわい賞「春爛漫」/厚木野球場周辺/斎藤 文夫



▲市制70周年記念賞

「鮎のまち厚木」/小鮎川下流/町野 正樹

▲神奈川新聞社賞

「春の香り」/妻田/奥野 悟史

入選▶



「一番の神輿」
/一番街通り/小峯 雄大



「桜の妖精」
/三川合流地点/藤間 翔



「仕事終わりの一瞬の絶景」
/戸田/佐藤 若菜



「ベッドみつけた」
/本厚木駅前/林 奈保子

自然歳時記

●スズメと桜●

ハタオリドリ科

全長14センチほど。雌雄同色で茶色の頭と頬のほくろのような黒い斑が特徴。人家の屋根瓦や壁の隙間、巣箱などに営巣する。人とつながりが強く、早起き鳥である/小鮎小学校で見つけた。
写真・文/吉田文雄



入学式に合わせて桜が咲き、薄いピンク色の花が美しい。その花びらが5枚まとまったままフワフワと舞いながら落ちていく。上空を見るとスズメたちが進級をお祝いするかのように、楽し気に花びらを口にくわえて落としていた。花が満開の時、各地でこの珍しい現象が

報道されている。メジロやヒヨドリは細いくちばしで蜜を吸うが、スズメのくちばしは太く吸えないので花を支えている筒の付け根にある蜜を見つけたのだった。

今スズメたちはすみかと餌場が少なくなり、絶滅危惧種になりかねない。皆で共栄共存の道を探りたい。

厚木市の人口
(3月1日現在)

🏠 世帯数 10万6213世帯 (前月比1世帯減)

👤 人口 22万2973人 (前月比239人減) 男11万4922人・女10万8051人